

# 明日から使える「七夕ネタ」

## ～ 情報発信の仕方～

小野 夏子 (NPO法人こころプラネット / 板橋区立教育科学館)  
e-mail:natsuko@kokoropla.net

## Story of the Star Festival “ TANABATA ” Information sending method

Natsuko ONO

(NPO-KokotoPLANET / Itabashi Science and Education Center, Tokyo, JAPAN)

### summary

Even if you send only new information, others have and do not hear the interest.  
If you ask, the other party will think. And, it will be felt that the person correctly answered the question is glad.  
It draws it in to your story by making the other party interesting, making it think, and making it pleased.

### < 情報発信の仕方・・・楽しい話をしましょう >

プラネタリウムなど天文解説を行う際には、来場者に楽しんでもらうように話をしたいものです。本発表では、「七夕」の話を題材に、楽しい話の仕方のポイントをご紹介します。

#### 1) 知っていること8割、知らないこと2割

実は、知っている話をするとみなさん、喜びます。(逆に知らない話ばかりではついてきません。)もちろん、知っている話100%では面白くありません。少しだけ知らない話題を加えます。すると、「あれ?そこは知らない。何だろう?」と興味をもって聞いてくれます。

#### 2) クイズなどで問いかけ

来場者が興味を持ったところで、クイズなどを用意して問いかけます。来場者、自ら考えることで参加意識も生まれ、より話を聞いてくれる姿勢が出来上がります。

#### 3) 嬉しくなるように

クイズの答え合わせでは、当然、自分の出した解が正しいかどうかということが注視されます。ここで、「あなたの答えは正解です!」となれば、嬉しいでしょう。選択問題であれば、「根拠なく適当に答えた」という人もあるかもしれませんが、解説をつけることでより理解を深めます。

では、この3ポイントを踏まえて「七夕の話」を進めて行きましょう。



<知っているようで知らない「七夕の話」をクイズで>

「七夕のお話をします」というと多くの方が「ああ、それ知っている。一年に一回、7月7日の夜、織姫と彦星がデートするっていうお話でしょ？」とおっしゃいます。正解ですね。織姫と彦星を隔てているのが天の川という事もほとんどの方がご存知です。

では、ここで問題です！



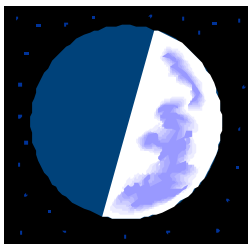
七夕の話をご存知の方もこれを問われると悩む方が多いように思います。

<実は、全員大正解！？>

一所懸命考えた答えが正解だと嬉しいですね。

ここで、ばらしてしまいましたが、今回のクイズの答えはいずれも「正解」とすることが可能です。どのような場で出題し、答えあわせをするかでやり方は変わるとおられますので、工夫してください。

では、解説をご紹介します。



(1) 織姫が渡る説・・・伝説が作られた2000年前

天の川を渡るには、舟が要る。  
太陰暦の七月七日には、  
舟形の月（上弦の月）が、天の川の西の岸に輝いている。  
月は、日々、天球を西から東へ動く・・・。  
天の川の西に居る織姫が、月の船で東へ渡り、  
彦星に会う！

(2) 彦星が渡る説・・・伝  
七夕の話が、日本に伝来し  
その頃の結婚は、  
「女性の家へ男性が通う」  
・・・七夕の話も日本風に



来した1000年前  
たのは、平安時代。

形式だった。  
アレンジされた。



(3) 二人が渡り天の川の中で会う・・・そして、現代  
現代、科学の目を手に入れた人類は、望遠鏡を天に向ける。  
織姫と彦星の間の天の川の中をそっと覗いてみよう  
・・・二つの星がデートしている。  
(はくちょう座の 星「アルビレオ」は、二重星)  
・・・おっと、これでは「覗き」ですね！

・・・という訳で、あなたの答えは、正解です。

<「七夕物語」からスタートして・・・天文普及>

七夕の物語から興味を持っていただいたみなさんと一緒に夏の星空を見上げて七夕のアイテムを探しましょう。

彦星から織姫に贈られたエンゲージリング・・・M57（こと座のリング星雲）

愛の証「キューピットの矢」・・・や座（織姫と彦星の間にある星座）

アイアイ傘・・・はくちょう座（北十字をアイアイ傘に結ぶ）

また、2つの星の宇宙空間での距離を示し、「一晩で往復するのは無理」と解説しながらも「これが本当の遠距離恋愛」と紹介し、「宇宙の広がり」へと展開することもできます。

七夕を語るチャンスは、7月7日と...「伝統的七夕」!!  
右に2012年までの伝統的七夕の日付を示します。

誰もが知っている「七夕」で、天文普及しませんか？

・・・また、「楽しい話」をしましょう。

小野 夏子（E-mail:natsuko@kokoropla.net）

| 年     | 伝統的七夕 |
|-------|-------|
| 2007年 | 8月19日 |
| 2008年 | 8月07日 |
| 2009年 | 8月26日 |
| 2010年 | 8月16日 |
| 2011年 | 8月06日 |
| 2012年 | 8月24日 |

<コメント>

（木村かおるさん）

七夕の話で、「織姫と彦星は、会えずに...」というのも紹介して欲しい。

七夕アイテムで、「いるか座」を「彦星が投げたラブレター」と見立てる。

（松本直記さん）

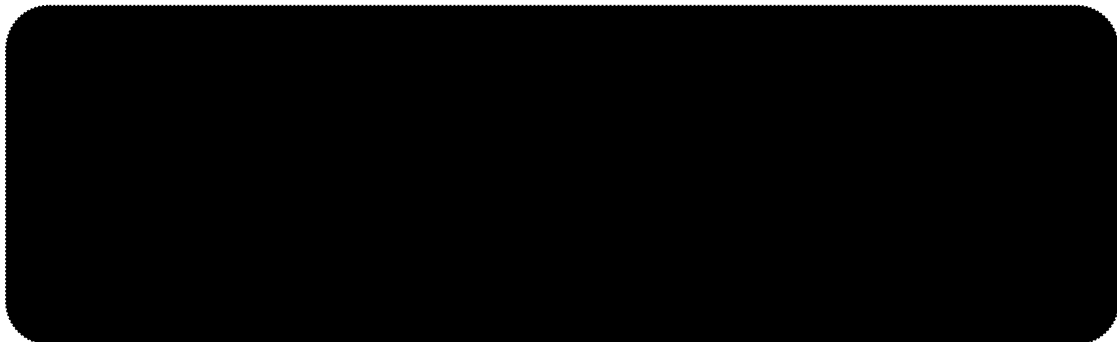
月の舟に乗って天の川を渡るという話がありましたが、実は、歳差運動の関係で、現在の太陰暦七月七日には、月は天の川を渡りません。七夕伝説の作られた2000年前位だとちゃんと天の川を渡ります。「七夕の話」を題材に歳差の話もできて面白いですね。

（水野孝雄さん）

学生から聞いたネタですが「織姫と彦星が1年に1回しか会えないのは可哀想と思うかも知れないが、星の寿命からすると1年に1回は、べったりくっついている（一緒に居る）に等しい」と。

補足：水野さんのコメントと同様の情報を下記に掲載しています。

<http://homepage3.nifty.com/planetarium/science/tenmon/monogatari/tanabata.html#shinjitu77>



日本語表記にして50音順に並べた時、最後に来るのは、何でしょうか？